

- 施工前にこの施工・取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
- 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店に依頼してください。
- この施工・取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

警告



- 施工は、この施工・取扱説明書通りに正確におこなってください。
- ～施工に不備があると、感電・火災・落下の原因となります～

注意



- 壁面と1 m以上離して設置してください。
- ～地震等による落下の原因となります～

注意



- 一般屋内用です。湿気が多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
- ～感電・火災・落下の原因となります～
- 周囲温度が、5～35℃以外および急激な温度変化で結露が生じるおそれのある場所では使用しないでください。
- ～感電・火災・落下の原因となります～
- 天井面取付専用器具です。傾天井・壁面には取り付けしないでください。
- ～落下の原因となります～



- パイプ吊りハンガー及びパイプ吊り伸縮ハンガーで本体を吊下げる場合、長手方向への固定機能はありません。本体の終端部に取り付けハンガーは、250 mm以上の位置に取り付けてください。
- ～落下の原因となります～

ハンガーの種類と用途

パイプ吊りハンガー



- DH02580 ホワイト N9.5
- DH0280 オフホワイト
- DH0285 黒
- DH0295 シルバー
- DH02584 ホワイト N9.5
- DH0284 オフホワイト
- DH0289 黒
- DH0296 シルバー

最大吊り下げ重量
10 kg

パイプ吊り伸縮ハンガー



- DH02582 ホワイト N9.5
- DH0282 オフホワイト
- DH0286 黒
- DH0297 シルバー

最大吊り下げ重量
10 kg

パイプ吊りクロスハンガー

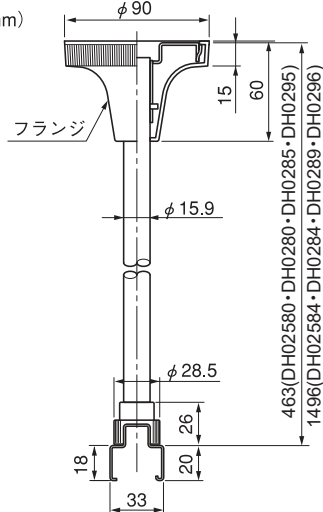


- DH02581 ホワイト N9.5
- DH0281 オフホワイト
- DH0287 黒
- DH0298 シルバー

最大吊り下げ重量
10 kg

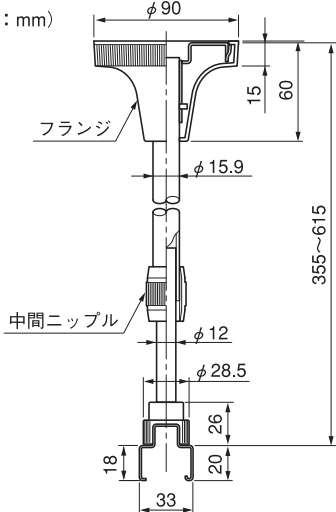
ショップラインを本体部でパイプ吊りするときに使用します。パイプ長さは、必要に応じてフランジ側で切断して短くできます。(切断後、穴加工が必要です。)

(単位：mm)



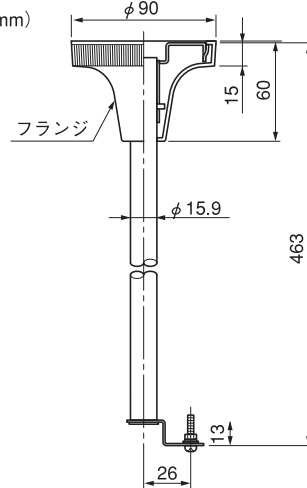
パイプ吊りハンガーの伸縮自在タイプです。中間ニップルでパイプ吊り長さを355 mm～615 mmの範囲で調節できます。(フランジ側で切断して短くできません)

(単位：mm)



ショップラインをフィードインキャップやジョイナ(S.L.T.+)部でパイプ吊りする場合に使用します。パイプ長さは、フランジ側で切断して短くできます。(切断後、穴加工が必要です。)

(単位：mm)



パイプ吊りハンガーの施工方法

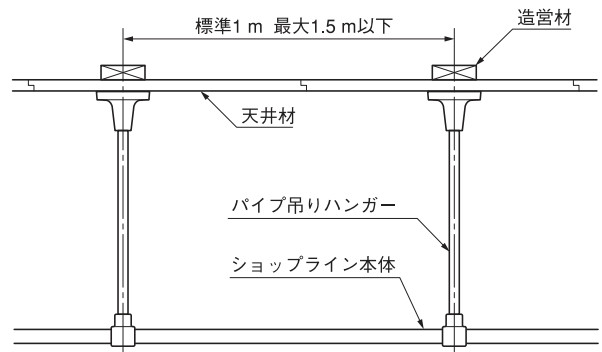
1 取り付け前の確認

- パイプ吊りハンガーによるショップライン本体の支持間隔は、標準1 m、最大1.5 mとして、造営材などにしっかり固定してください。

△注意

吊り下げ重量（1本で最大10 kgまで）に十分耐えるように、取付部の強度を確保してください。
 本体1本につき必ず2か所以上使用してください。
 ～不備があると、天井材の損傷・落下の原因となります～

パイプ吊りハンガー及びパイプ吊り伸縮ハンガーで本体を吊下げる場合、長手方向への固定機能はありません。
 本体の終端部に取り付けるハンガーは、250 mm以上の位置に取り付けてください。
 ～落下の原因となります～

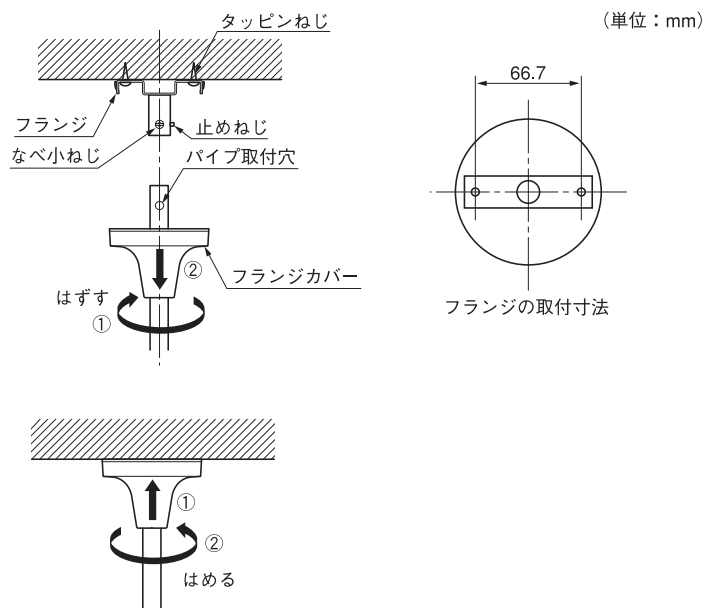


2 フランジの取り付け

- ①フランジカバーを左に回してはずします。
- ②フランジを木ねじ、またはタッピンねじなどで、確実に取り付けてください。
- ③パイプ吊りハンガーのパイプ取付穴と、なべ小ねじの位置を合わせてフランジに挿入し、なべ小ねじと止めねじで確実に取り付けてください。（なべ小ねじでパイプ取付穴に貫通させ固定します。）
- ④フランジカバーを右に回して、元の状態にはめ込んでください。

△注意

木ねじ、またはタッピンねじ、なべ小ねじ、止めねじは確実に締めてください。
 ～不備があると、落下の原因となります～

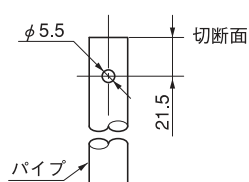


3 パイプ吊りハンガーの長さ調整

パイプ吊りハンガー・パイプ吊りクロスハンガー

- ①造営材に取り付けた後、長さを調整するときはなべ小ねじと止めねじをゆるめ、パイプをはずしてフランジ側でパイプを切断してください。（単位：mm）

- ②切断後、穴加工（φ5.5）をおこない、②フランジの取り付けに従いパイプをフランジに取り付けてください。



△注意

なべ小ねじ、止めねじは確実に締めてください。
 ～不備があると、落下の原因となります～

パイプ吊り伸縮ハンガー

- 中間ニップルをゆるめ、所定寸法に調整後、中間ニップルを締めてください。

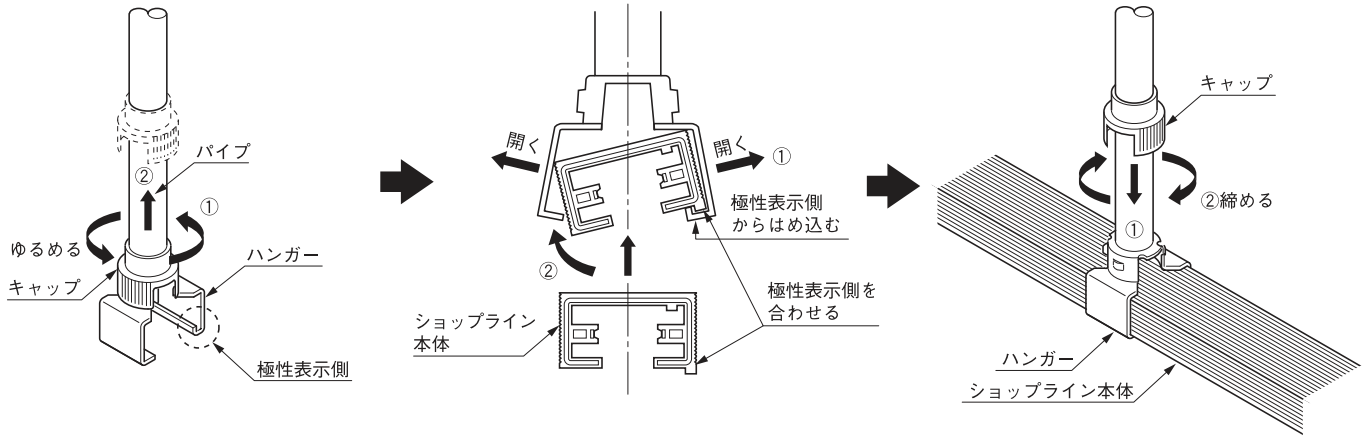
△注意

中間ニップルは、確実に締めてください。
 ～不備があると、落下の原因となります～

4 ショップラインの取り付け

パイプ吊りハンガー・パイプ吊り伸縮ハンガー

- ①キャップを左へ回してから上へ上げて、ハンガーからはずしてください。
- ②ハンガーを開き、ショップライン本体の極性表示とハンガーの極性表示を先に合わせて、はめ込んでください。
- ③ハンガーでショップライン本体をはさみ、キャップを上からはめ込み、右にロックするまで回してください。



⚠注意

キャップが確実にロックされるまで回してください。
～不備があると、落下の原因となります～

パイプ吊りクロスハンガー

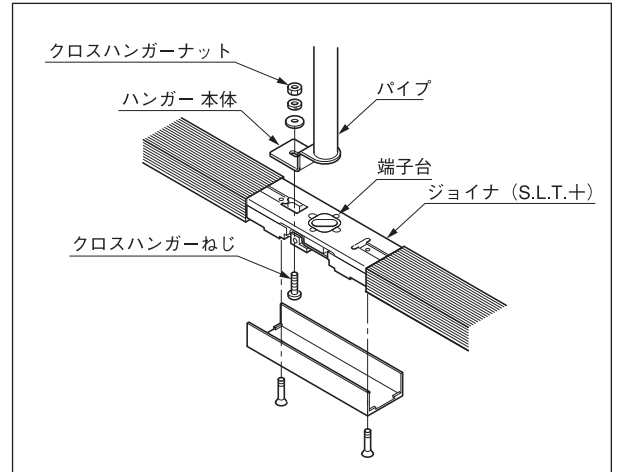
- ①ハンガーのナット、およびねじをはずします。
- ②ジョイナ (S.L.T.+) のカバーをはずします。
- ③ハンガーをジョイナに取り付け、ナットとねじで固定します。
- ④ジョイナのカバーを元の状態に取り付けます。

※ハンガーをフィードインキャップに取り付ける場合も同じ要領です。

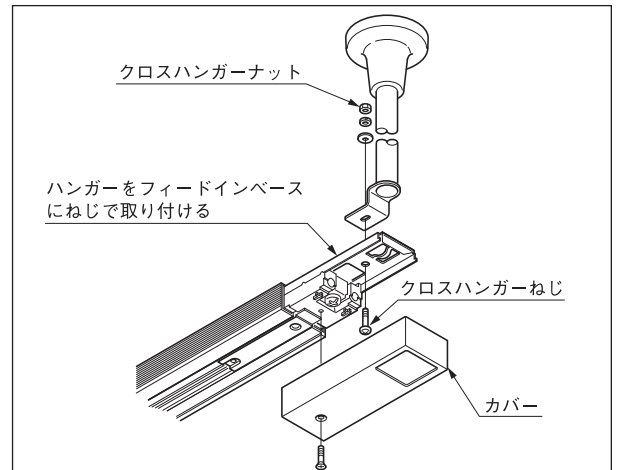
⚠注意

ナットとねじで、確実に固定してください。
～不備があると、落下の原因となります～

■ジョイナ (S.L.T.+) 部への取り付け



■フィードインキャップ部への取り付け

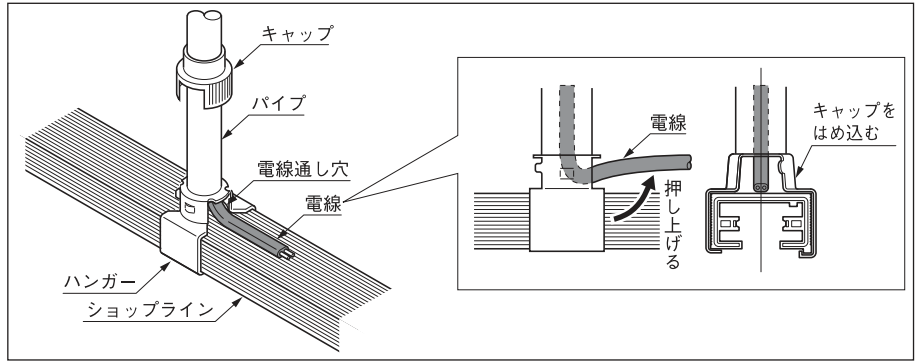


パイプ吊りハンガーの施工方法

5 電源の引き込み方法 (パイプ吊りハンガーから給電する場合)

パイプ吊りハンガー・パイプ吊り伸縮ハンガー

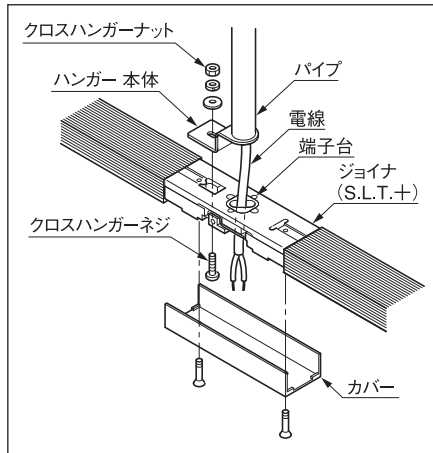
- 天井内から電線をパイプに引き込んでください。
(ショップラインをハンガーに固定する前に電線を通してください。)
- 作業がらくになります。又、通常給電部に近いパイプ吊りハンガーで実施します。
- 4と同様の要領でショップラインをはめ込み、キャップで固定してください。



パイプ吊りクロスハンガー

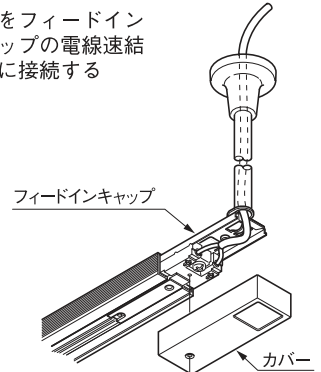
- 天井内から電線をパイプに引き込んでください。
- ジョイナ (S.L.T.+) のカバーをはずし、端子台中央から電線を引き出し、ジョイナの電源接続端子に接続してください。
- カバーを元の状態に取り付けます。

■ジョイナ (S.L.T.+) 部への取り付け

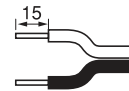


■フィードインキャップ部への取り付け

電線をフィードインキャップの電線速結端子に接続する



ハンガーをフィードインキャップに取り付ける場合も同じ要領です。



電線は1.6 mmまたは、2.0 mmの単線をご使用ください。

⚠注意

接続が不完全な場合・容量がオーバーした場合
～火災の原因となります～

取扱説明書

(保管用) この取扱説明書は、必ず保管してください。

安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警告



禁止

- 商品の改造は絶対にしないでください。
～感電・火災・落下の原因となります～
- ショップライン本体に、適合部品以外を取り付けたり、適合照明器具以外の重量をかけたらないでください。
～感電・火災・落下の原因となります～



必ず守る

- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。
～守らないと感電・火災の原因となります～

⚠注意



禁止

- 商品の下に温度の高くなる物 (ストーブ・ガスレンジ等) や湿気を発生させる物を置かないでください。
～火災の原因となります～



必ず守る

- お手入れの際は、必ず電源を切ってからおこなってください。
～守らないと感電の原因となります～
- 地震の発生後は、電源を切り、取り付け強度が十分であるか調査し、異常がある場合は、販売店・電気工事店にご相談ください。なお、その際には、必ず本取扱説明書をお渡しください。
～守らないと落下の原因となります～

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460 (FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

© Panasonic Corporation 2012-2022

DH0280-T15
Dx0808-60422